

第6次野辺地町まちづくり 総合計画前期基本計画 第2期野辺地町まち・ひ と・しごと創生総合戦略

進捗確認調査結果報告書

もくじ

- 調査の概要
- 調査の結果
- 結果のまとめ

A detailed, high-contrast black and white image of a wood grain texture, showing concentric growth rings and a fine, fibrous structure. It occupies the left half of the page.

調査の概要

調査の目的・方法

1 調査の目的

- 「第6次野辺地町まちづくり総合計画前期基本計画」の進捗管理を図るとともに、評価を行い、5年間の総括を行います。
- 「第2期野辺地町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の進捗管理を図るとともに、評価を行い、5年間の総括を行います。
- P D C Aの概念に基づき、評価結果に基づく今後の方向性を導き出します。
- 課題を整理し、審議会や議会等で進捗結果の報告の際に活用することを目的とします。

	進捗率	進捗点数
A	90～100%	90点
B	70～89%	70点
C	50～69%	50点
D	30～49%	30点
E	0～29%	0点

2 調査方法

- 各課において、担当する施策のシートを作成し右のような評価をました。
- 後日担当課ヒアリングを実施し、評価を確定するとともに、必要に応じてシートの修正を行いました。


施策一覧

第2期野辺地町 まち・ひと・しごと創生 総合戦略

戦略	1	1	「日本遺産認定のまち」と「のへじ北前文化」による誘客促進
戦略	1	1	「郷土の生業を創る」～産業・労働分野～
戦略	1	2	地域の資源を生かした魅力づくり
戦略	1	3	空き店舗・空き家等を活用した地域の活性化
戦略	1	4	荒廃農地の解消推進
戦略	2	1	当町への移住希望者増加計画「関係人口創出対策」
戦略	2	2	当町への移住希望者増加計画「転入推進・転出抑制対策」
戦略	2	3	ごみの排出量削減による住みよいまちづくり
戦略	2	4	自主防災組織の団体数増による災害に強いまちづくり
戦略	3	1	子育て支援体制の強化
戦略	3	1	子ども医療費給付の所得制限改正及び無償化の検討
戦略	3	2	中核病院、産科、小児科等、受診者の通院交通費助成
戦略	3	2	安心して日常生活を送ることができる医療・福祉環境づくり
戦略	3	2	安心安全に妊娠期から育児期を過ごすための妊産婦及び児への支援
戦略	3	2	「郷土の人と身体と心を守る」～福祉・保健・医療分野～
戦略	4	1	「郷土をますます愛し育む「人材」を育てる」～教育・歴史・文化分野～
戦略	4	1	(2) 文化財を活用した人材育成と魅力発信
戦略	4	2	スポーツを通じた心身ともに健康な人づくりの推進
戦略	4	2	スポーツを通じた心身ともに健康な人づくりの推進

第6次野辺地町 まちづくり総合計画 前期基本計画

総計	1	1	地域福祉の推進
総計	1	2	子育て支援の充実
総計	1	3	高齢者福祉の充実
総計	1	4	障がい者福祉の充実
総計	1	5	健康づくりの推進
総計	1	6	社会保障等の充実
総計	2	1	農林業の振興
総計	2	2	水産業の振興
総計	2	3	商工業の振興（商工業振興事業）
総計	2	4	観光の振興
総計	2	5	雇用促進・労働環境の改善
総計	3	1	学校教育の充実
総計	3	2	生涯学習の推進
総計	3	3	スポーツの推進
総計	3	4	文化・芸術活動の推進
総計	3	5	交流活動の推進
総計	4	1	消防・防災・救急医療対策の強化
総計	4	2	道路及び公共交通の整備・充実
総計	4	3	道路及び公共交通の整備・充実
総計	4	4	上下水道の維持・整備
総計	4	5	土地の有効利用
総計	4	6	住環境の改善
総計	4	7	合併処理浄化槽の普及・推進
総計	5	1	活用して保全する環境
総計	5	2	廃棄物処理とリサイクルの推進
総計	6	1	メリハリのある行財政
総計	6	1	協働のまちづくりの推進
総計	6	2	広報・広聴の充実
総計	6	3	計画的・効率的な行財政運営の推進
総計	6	4	広域行政の推進



調査の結果

全体評価

総合戦略の全体評価は
60.5点でした。子育て支援はA評価でしたが、それ以外は全体的に評価が低くなっています。

総合計画の全体評価は
63.8点でした。新型コロナウイルスの影響もあり、全体的に計画通り進められていません。

総合戦略	平均 / 評価点
基本目標① 郷土の生業を創る ～産業・労働分野～	58.0
1 「日本遺産認定のまち」と「のへじ北前文化」による誘客促進	50.0
2 地域の資源を活かした魅力づくり	50.0
3 空き店舗・空き家等を活用した地域の活性化	70.0
4 荒廃農地の解消による農業の活性化	70.0
「郷土の住みやすさを実現する」 ～生活環境・生活基盤分野～	50.0
1 当町への移住希望者増加計画 «関係人口創出対策»	50.0
2 当町への移住・定住推進計画 «転入推進・転出抑制対策»	30.0
3 ごみの排出量削減による住みよいまちづくり	70.0
4 自主防災組織の団体数増による災害に強いまちづくり	50.0
基本目標③ 郷土の人と身体と心を守る ～福祉・保健・医療分野～	66.7
1 子育て支援体制の強化	90.0
2 安心して日常生活を送ることができる医療・福祉環境づくり	55.0
基本目標④ 郷土をますます愛し育む「人財」を育てる ～教育・歴史・文化分野～	65.0
1 野辺地町の将来を担う人財「野辺地っ子」の育成	60.0
2 スポーツを通じた心身ともに健康な人づくりの推進	70.0
総計	60.5

総合計画	平均 / 評価点
1 支えあい切れ目のない保健福祉	60.0
(1) 地域福祉の推進	50.0
(2) 子育て支援の充実	70.0
(3) 高齢者福祉の充実	50.0
(4) 障がい者福祉の充実	70.0
(5) 健康づくりの推進	50.0
(6) 社会保障等の充実	70.0
2 工夫と連携の地域産業	66.0
(1) 農林業の振興	70.0
(2) 水産業の振興	70.0
(3) 商工業の振興	70.0
(4) 観光の振興	50.0
(5) 雇用促進・労働環境の改善	70.0
3 誰もが学べる教育	70.0
(1) 学校教育の充実	70.0
(2) 生涯学習の推進	70.0
(3) スポーツの推進	70.0
(4) 文化・芸術活動の推進	70.0
(5) 交流活動の推進	70.0
4 住み続けたい生活環境	58.3
(1) 消防・防災対策の強化	50.0
(2) 防犯・交通安全対策の充実	70.0
(3) 道路及び公共交通の整備・充実	30.0
(4) 上水道の維持・整備	70.0
(5) 土地の有効利用	70.0
(6) 住環境の改善	60.0
(7) 合併処理浄化槽の普及・推進	70.0
5 活用して保全する環境	70.0
(1) 自然環境の保全と再生可能エネルギー	70.0
(2) 廃棄物処理とリサイクルの推進	70.0
6 メリハリのある行財政	63.3
(1) 協働のまちづくりの推進	56.7
(2) 広報・広聴の充実	63.3
(3) 計画的・効率的な行財政運営の推進	70.0
(4) 広域行政の推進	50.0
総計	63.8

基本目標① 郷土の生業を創る ～産業・労働分野～

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名
戦略	1	1	「日本遺産認定のまち」と「のへじ北前文化」による誘客促進			産業振興課	商工観光交流	
	施策の達成度評価（A～E）			A：100%程度 B：75%程度 C：50%程度	D：25%程度 E：0%	今後の方向性		
	C							
達成度 評価 根拠	平成30年度に日本遺産「荒波を超えた男たちの紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落」に追加認定されました。その後は、外販や町外イベント（トップセールス・青森人の祭典）の際には、関連パンフレットを配布し周知活動を行いました。また、毎年、県外フォーラムやブロック会議等を定期的に行うことにより、PR活動や情報共有を行っております。さらに、国補助金（地域創生交付金）を活用して、歓迎塔張替工事やデジタルサイネージ購入等の事業を実施しました。 令和5年度には、休止中であった常夜燈市場を（株）北前船（代表 佐々木氏）が引き継ぎ、リニューアルオープンしました。さらには、駐車場整備工事を行い、利便性が向上しました。			施策・ 取組	①	周知PR事業		
					②	施設周辺等整備事業		
					③	北前船日本遺産事業への参加による誘客促進		
					④	日本遺産認定自治体連携による誘客促進		
					⑤			
					⑥			
					⑦			
強み・弱み								
野辺地町の当該施策における強み（Strength）					野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）			
・北前文化に関連した建造物等や祇園まつり等、現在に至るまで色濃く残っております。 ・同一敷地内に、常夜燈公園や常夜燈市場等が集約しており、イベント等の際に有効的です。 ・町境（横浜町・東北町・平内町）に大型の歓迎塔が設置されており、町内外の人達へ北前文化を全PRが可能です。 あります。					・みちのく丸の老朽化は進んでおります。 ・常夜燈市場の店舗スペースが限られており、品揃えが少なく、大勢の人達が来た際には不便な状態になります。 ・常夜燈市場は、（株）北前船（代表 佐々木氏）が運営しているが、雇用者確保が難しい状態にあります。			

基本目標① 郷土の生業を創る ～産業・労働分野～

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名	
戦略	1	1	「郷土の生業を創る」～産業・労働分野～			産業振興課	商工観光交流		
	施策の達成度評価（A～E）			A：100%程度	D：25%程度	今後の方向性			
	C			B：75%程度	E：0%	現状維持			
				C：50%程度					
達成度 評価 根拠	<p>観光では、新型コロナウイルス感染症も回復し、拡大前の約70%観光入込客は戻りつつあり、各種イベントについても通常に戻りつつあります。今後は、更なる観光客を取り入れることができるよう、SNSを活用した広報活動やイベント企画、観光事業の見直しや検討が必要です。</p> <p>商業では、起業者等への補助金並びに起業希望者相談事業を行っております。しかし、これまでの補助制度に加え、事業継承等の新たな支援制度を関係団体と連携して検討する必要があります。</p>					施策・ 取組	①	イベント開催事業	
							②	施設周辺等細微事業	
							③	日本遺産認定PRによる誘客促進	
							④	のへじ祇園まつり魅力アップ事業	
							⑤	起業者への応援事業	
							⑥	販売促進事業	
							⑦		
強み・弱み									
野辺地町の当該施策における強み（Strength）					野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）				
・平成30年に日本遺産「荒波を越えた男たちの夢を紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」に認定され、鰺ヶ沢町・深浦町と連携し、当時の文化・歴史などを伝えています。 ・平成26年に復元北前型弁才船「みちのく丸」の譲渡を受け、常夜燈公園に陸揚げされ姿を見ることができます。 ・空き店舗活用や起業者の事業拡大（広報活動・店舗改装）のための補助金を交付しています。					・みちのく丸の老朽化が進んでおります。 ・少子高齢化や担い手不足により、事業者が減少しています。				

基本目標① 郷土の生業を創る ～産業・労働分野～

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名		担当課	担当	記入者氏名
戦略	1	2	地域の資源を生かした魅力づくり		産業振興課	商工観光交流	
	施策の達成度評価（A～E）		A：100%程度	D：25%程度	今後の方向性		
	C		B：75%程度	E：0%			
達成度 評価 根拠	地域資源を生かし、1次産業推進に取り組むとともに、起業支援を含めた形で商品開発を実施し、民間・公共施設（むらおこし物産加工施設）の環境整備を行い、商品の開発製造等の環境整備を行っております。 （一財）野辺地町観光協会においては、カワラケツメイをメインに、国補助金（地方創生交付金）を活用した商品開発や商品販売を行っております。また、「よつばしいちご」を活用した試作商品（いちごサイダー・ミルク）の開発も行いました。 また、地域おこし協力隊（横井氏）が開発した「ホタコロ」や「ホタグラ」等も好評であります。			施策・ 取組	①	1次産業推進による生業づくり事業	
					②	地域の資源を活用した生業支援事業	
					③	起業家への応援事業	
					④	民間・公共施設の環境（建物・製造設備等）整備事業	
					⑤		
					⑥		
					⑦		
強み・弱み							
野辺地町の当該施策における強み（Strength）				野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）			
・地域資源が豊富です。（小かぶ、カワラケツメイ、ホタテ、トゲクリガニ） ・小かぶやホタテは商標登録されており、ブランド価値も高いです。 ・カワラケツメイ関連商品が豊富であります。（アイス、うどん、そば、銘菓類） ・商工会や地域おこし協力隊による新商品開発に非常に協力的であります。				・観光協会のカワラケツメイ生産量が年間70kg程度少なく、生産規模が小さいのが難点です。（気象に左右される場合もあり、畑の面積やスタッフ数の問題もある・・・） ・小かぶやカワラケツメイ等、素材との相性の問題もあり、商品開発や加工が難しいのが難点です。 ・ほたては、昨今の海水温上昇により、不漁が相次いでおり、漁獲量が安定しづらいのが弱点です。 ・むらおこし物産加工施設・機械設備等の老朽化が進んでおります。			

10

基本目標① 郷土の生業を創る ～産業・労働分野～

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名
戦略	1	3	空き店舗・空き家等を活用した地域の活性化			産業振興課	商工観光交流	
	施策の達成度評価（A～E）			A：100％程度	D：25％程度	今後の方向性		
	B			B：75％程度	E：0％	現状維持		
達成度 評価 根拠	相談事業では、町内で起業を希望する方への相談を実施することにより、新たな雇用の創出と地域産業の活性化に取り組んでいます。 起業者応援事業では、地域経済の活性化と雇用の拡大を図るため、地域産業の活性化に取り組みたい事業者及び空き店舗・空き家等を活用したい事業者を支援しています。					施策・ 取組	①	起業者希望者等への相談事業
							②	起業者希望者等把握事業（周知PR）
							③	空き店舗・空き家等を活用した起業者応援事業
							④	空き店舗・空き家等を活用し、雇用を創出した起業者への雇用者応援事業
							⑤	
							⑥	
							⑦	
強み・弱み								
野辺地町の当該施策における強み（Strength）					野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）			
・町、県のホームページ掲載に加え、補助事業紹介のチラシ毎戸配布など、周知方法が豊富です。 ・他町と比べ、補助事業の種類が多いです。 ・商工会と連携し、起業者へのサポート体制が整っています。					・起業や経営に関する知識が乏しく、専門的な助言を行うことが難しいです。			

基本目標① 郷土の生業を創る ～産業・労働分野～

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名
戦略	1	4	荒廃農地の解消推進			産業振興課	農業	
	施策の達成度評価（A～E）		A：100%程度	D：25%程度	今後の方向性			
	B		B：75%程度 C：50%程度	E：0%	現状維持			
達成度 評価 根拠	荒廃農地の解消に向けて、農地パトロールや非農地通知の発送により荒廃農地の発生を防いできました。今年度は、耕作放棄地解消事業を実施し0.6haの荒廃農地を再生することができ、翌年からは耕作放棄地対策協議会を設立し、さらなる荒廃農地の解消が見込まれます。				施策・ 取組	①	耕作放棄地解消事業	
						②	農地パトロール	
						③	非農地通知の発送業務	
						④		
						⑤		
						⑥		
						⑦		
強み・弱み								
野辺地町の当該施策における強み（Strength）					野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）			
・荒廃農地を解消することで、実施地域の景観が良くなります。 ・景観が良くなることで、鳥獣対策にもつながります。 ・荒廃農地を再生し、その農地を活用することで、地域農業の活性化につながります。 ・農地の集積、集約化の促進につながります。					・荒廃が進んでいる農地の場合、解消するまでに時間がかかります。 ・解消後の農地を新たな担い手へ集約できるかという懸念があります。			

基本目標②「郷土の住みやすさを実現する」 ～生活環境・生活基盤分野～

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名	
戦略	2	1	当町への移住希望者増加計画«関係人口創出対策»			企画財政課	企画政策担当		
	施策の達成度評価（A～E）			A：100%程度	D：25%程度	今後の方向性			
	C			B：75%程度	E：0%	拡大			
達成度 評価 根拠	コロナ禍以降、首都圏で開催される移住イベントへの出展や弘前大学との連携事業等新たな取組を実施しています。しかし、道半ばであり、まだ結果には結びついていません。					施策・ 取組	①	就農移住体験ツアー	
							②	お試し移住支援金事業補助金	
							③	移住・交流推進事業	
							④		
							⑤		
							⑥		
							⑦		
強み・弱み									
野辺地町の当該施策における強み（Strength）						野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）			
・交通の利便性が良く、体験ツアーへの参加者が訪問しやすい場所となっています。 ・一次産業体験は実施しやすい環境にあります。						・知名度が低く、訪問先として選ばれる地域ではありません。 ・情報発信力が不足しています。 ・気候変動により、一次産業体験の実施が難しくなっています。 ・働く場所が不足しています。 ・冬期間の体験ツアーの実施は難しくなっています（スキー場休止中、宿泊施設閉鎖）			

基本目標②「郷土の住みやすさを実現する」 ～生活環境・生活基盤分野～

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名
戦略	2	2	当町への移住希望者増加計画«転入推進・転出抑制対策»			企画財政課	企画政策担当	
	施策の達成度評価（A～E）		A：100%程度	D：25%程度	今後の方向性			
	D		B：75%程度 C：50%程度	E：0%	拡大			
達成度評価根拠	空き家等バンク制度については、令和4年度以降、固定資産税納税通知書へのチラシ同封、町職員による物件調査の開始及び空き地を対象に加える等の見直しを行ったことにより、登録及び成約件数は微増となっています。一方、移住定住に関する制度については、活用実績が少ない状態が続いており、効果的な施策の模索が続いています。					施策・取組	①	野辺地町移住支援金交付金
							②	空き家・空き店舗バンク活用促進事業補助金
							③	子育て世帯住宅助成制度
							④	浄化槽設置整備事業補助金
							⑤	地域おこし協力隊制度
							⑥	
							⑦	
強み・弱み								
野辺地町の当該施策における強み（Strength）					野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）			
・魅力的な先輩地域おこし協力隊があり、後輩の育成にも意欲を示しています。 ・活用可能な空き家が多く存在しています。 ・不動産業者が4店舗存在しています。					・空き家等バンクへの登録件数がなかなか増えない状況にあります。 ・空き家等バンク制度において、仲介業者の協力が不足しています。 ・補助金の周知が図られておらず、活用実績が伸び悩んでいます。			

基本目標②「郷土の住みやすさを実現する」 ～生活環境・生活基盤分野～

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名	
戦略	2	3	ごみの排出量削減による住みよいまちづくり			町民課	環境保全		
	施策の達成度評価（A～E）			A：100％程度	D：25％程度	今後の方向性			
	B			B：75％程度	E：0％	拡大			
				C：50％程度					
達成度 評価 根拠	ごみの減量化について、町民への啓発活動を行っています。令和6年度はプラスチックの適正分別について理解してもらうため、廃棄物処理施設（クリーン・ペア・はまなす）への町民向け見学会を開催しごみ減量化について理解を深めてもらっています。					施策・ 取組	①	各種廃棄物（ごみ）の減量化	
							②		
							③		
							④		
							⑤		
							⑥		
							⑦		
強み・弱み									
野辺地町の当該施策における強み（Strength）						野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）			
・具体的な事業として野辺地町では、エコステーションの設置、衣類回収ボックスの設置、野辺地町資源ごみ回収奨励金、ごみステーション整備事業費補助金などを実施し、ごみの排出量削減に取り組んでいます。						・漁業系残渣の処理量が多いため、適正指導を実施してごみ排出量削減を目指していく必要があります。			

基本目標②「郷土の住みやすさを実現する」 ～生活環境・生活基盤分野～

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名
戦略	2	4	自主防災組織の団体数増による災害に強いまちづくり			防災管財課	防災安全担当	
	施策の達成度評価（A～E）			A：100％程度	D：25％程度	今後の方向性		
	C			B：75％程度	E：0％	現状維持		
達成度評価根拠	当町における自主防災組織の結成数は8団体であり、全世帯数に対する結成団体の世帯カバー率は46.14パーセントです。結成団体数は、令和元年度に8団体であったが同年度に1団体が解散し7団体と減少することとなりましたが、結成に向けた取組により令和4年度に1団体が新規結成し現在の状況となっています。					施策・取組	①	自主防災組織活動支援事業補助金
							②	防災土育成事業補助金
							③	未結成の自治会に対する結成に向けた勉強会の開催
							④	自主防災体験研修会（県との共催）等の開催
							⑤	
							⑥	
							⑦	
強み・弱み								
野辺地町の当該施策における強み（Strength）						野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）		
未結成団体等への勉強会について、令和5年度は6団体（結成済の1団体を含む）、令和6年度は4団体に 対し実施しています。						勉強会は開催できるが、そのことが新規団体の結成にはつながっていないのが現況です。		

基本目標③ 郷土の人と身体と心を守る ～福祉・保健・医療分野～

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名	
戦略	3	1	野辺地町子ども子育て家庭総合支援拠点（子育て世代包括支援センター）の整備			健康づくり課	子ども家庭総合支援担当		
	施策の達成度評価（A～E）			A：100%程度	D：25%程度	今後の方向性			
	A			B：75%程度	E：0%	現状維持			
				C：50%程度					
達成度 評価根拠	当町では令和2年に子ども家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センターの機能を併せもつ「野辺地町こそだて応援ステーションふわふわ」を立ち上げ、母子保健と児童福祉の窓口を一元化しワンストップサービスを提供してきました。また、子育て全般を一体的に支援する総合拠点として、相談支援体制の強化や他課と連携して情報発信をし、サービスの充実を図ってきました。					施策・ 取組	①	対象者への支援プラン実施	
							②	妊婦訪問	
							③	新生児乳児訪問	
							④		
							⑤		
							⑥		
							⑦		
強み・弱み									
野辺地町の当該施策における強み（Strength）					野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）				
妊娠届時から保健師・助産師による面談と支援を開始しており、顔の見える関係性が構築しやすく、次の支援に比較的スムーズにつなげることができています。また、妊婦訪問や産前・産後ケア事業などを通じて切れ目のない支援に取り組んでいます。					少子化や核家族化が進むことで子育ての孤立化も進み、行政の支援が必要なケースが増加していることが問題といえます。妊婦訪問の場合、多くは妊婦が産前休暇に入った後に訪問を実施していますが、産休後すぐに町外へ里帰りするケースもあり、訪問支援が電話支援に変更となることがあります。その場合は、電話にて体調や出産・育児の準備の進捗などについて確認しています。				

基本目標③ 郷土の人と身体と心を守る ～福祉・保健・医療分野～

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名
戦略	3	1	子ども医療費給付の所得制限改正及び無償化の検討			町民課	国保・後期高齢者医療・年金担当	
	施策の達成度評価（A～E）			A：100%程度	D：25%程度	今後の方向性		
	A			B：75%程度	E：0%	現状維持		
達成度評価根拠	本町では、児童の子育て支援に資することを目的とし、医療の給付を受けた場合の自己負担分に係る費用を子ども医療費給付事業において助成しています。 子ども医療費給付事業では、中学校卒業までの児童を対象に所得制限を設けて実施しておりましたが、令和6年10月診療分から所得制限を撤廃し、対象児童の年齢を18歳に到達する年度末までに拡大しました。					施策・取組	①	子育て家庭への経済的支援
							②	安心して子どもを産み育てるための環境づくり
							③	子どもの育ちを支える保育環境づくり
							④	障がいのある子どもに対する支援の充実
							⑤	子どもたちの健やかな成長を支援する環境づくり
							⑥	
							⑦	
強み・弱み								
野辺地町の当該施策における強み（Strength）					野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）			
・青森県内であれば、受給資格証を医療機関等へ提示することで、保険適用分の医療費については、現物給付（窓口で医療費の自己負担なし）で受診することができます。					・子ども医療費の受給資格証は、青森県外で使用することができず、保護者の方が一時的に医療費を自己負担し、町へ医療費の支給申請を行う必要があります。 ・入院時の食事療養費についての助成はなく、自己負担が必要です。			

基本目標③ 郷土の人と身体と心を守る ～福祉・保健・医療分野～

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名
戦略	3	2	(1) 中核病院、産科、小児科等、受診者の通院交通費助成			健康づくり課	子ども家庭総合支援担当	
	施策の達成度評価（A～E）			A：100％程度	D：25％程度	今後の方向性		
	B			B：75％程度	E：0％	現状維持		
達成度評価根拠	本事業は、地元公立病院の産科休止に伴い、町外の産科医療機関を利用せざるを得ない妊産婦が安心して出産できるように通院交通費等を助成し、妊産婦及びその家族の経済的負担の軽減を図り、母子保健の向上と少子化対策の促進を図ることを目的としています。現状、妊産婦からの申請により助成を行っていますが、助成対象者が未申請の場合や申請時に必要な書類がそろっていない場合などが対象者全員に助成ができていない要因として挙げられます。					施策・取組	①	中核病院、産科、小児科等、受診者の通院交通費助成
							②	
							③	
							④	
							⑤	
							⑥	
							⑦	
強み・弱み								
野辺地町の当該施策における強み（Strength）					野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）			
保健師等が妊産婦に対して訪問を行う際など、本事業についての周知を確実に行うことができます。					実際の申請は対象者自身のため、周知した全員が必要書類をすべてそろえて確実に申請されない事例が多々見受けられます。			

基本目標③ 郷土の人と身体と心を守る ～福祉・保健・医療分野～

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名		担当課	担当	記入者氏名
戦略	3	2	安心して日常生活を送ることができる医療・福祉環境づくり		健康づくり課	健康増進担当	
	施策の達成度評価（A～E）		A：100%程度	D：25%程度	今後の方向性		
	C		B：75%程度 E：0%	現状維持			
達成度 評価 根拠	<p><胃がん、大腸がん、肺がん、子宮がん、乳がん、前立腺がん> 目標値45%としています。 ※前立腺がんは、R4年度より実施していません。 すべての検診が目標値に届くことができていない状況です。しかし、R4年度まで、大腸がん、肺がん、乳がん検診の受診率は、目標値の半分となる約22%を超えていました。 近年は、新型コロナウイルス感染症などの影響により受診体制の変化などがあり、受診率は低下傾向であります。</p>				施策・ 取組	①	受診しやすい健診体制づくり
						②	集団健診（漁業者・農業者専用、男女別専用、就労者専用休日健診の設定）
						③	個別健診（通年の委託健診）、健診再勧奨事業
						④	女性がん検診無料クーポン券配布事業
						⑤	
						⑥	
						⑦	
強み・弱み							
野辺地町の当該施策における強み（Strength）					野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）		
・各検診項目要精検者の、精密検査受診率が約90%程度					・町内医療機関との委託契約数が、閉院などの理由により減少傾向		

基本目標③ 郷土の人と身体と心を守る ～福祉・保健・医療分野～

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名	
戦略	3	2	安心安全に妊娠期から育児期を過ごすための妊産婦及び児への支援			健康づくり課	子ども家庭総合支援担当		
	施策の達成度評価（A～E）			A：100%程度	D：25%程度	今後の方向性			
	B			B：75%程度	E：0%	拡大			
達成度 評価根拠	安心安全な妊娠・出産・育児期の親子の疾病予防・健康増進と育児不安の解消、障がい等の早期発見等に向けて、各種子育て支援事業を展開しています。 今後も対象者のニーズの変化に対応し、より個別性に沿った支援を強化していきます。					施策・取組	①	マタニティサロン	
							②	妊婦健康診査公費助成	
							③	妊婦の救急時対応に備えた情報提供システム	
							④	新生児聴覚検査費用助成	
							⑤	乳幼児健診におけるフッ素化合物塗布事業	
							⑥		
							⑦		
強み・弱み									
野辺地町の当該施策における強み（Strength）						野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）			
担当課から関係機関や団体への働きかけにより、事業の協力や支援が得られやすい地域といえます。妊婦の救急時対応に備えた情報提供システムやフッ化物塗布事業など、既存の資源を活かして地域の弱みを補い、健康の底上げにつなげる事業を展開しています。						町内に産科医療機関がないことから、妊産婦に経済的にも心身にも負担を与えています。少子化により、妊婦の数も年々減少しており、子育て仲間づくりが難しくなっています。インターネットやSNSなどによる情報が氾濫しているなか、子育て世帯が安心して子育てできるよう個別性に応じた支援がより必要であり、経済的な支援と併せて実施していく必要があります。			

基本目標③ 郷土の人と身体と心を守る ～福祉・保健・医療分野～

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名
戦略	3	2	「郷土の人と身体と心を守る」～福祉・保健・医療分野～			健康づくり課	子ども家庭総合支援担当	
	施策の達成度評価（A～E）			A：100%程度	D：25%程度	今後の方向性		
	D			B：75%程度	E：0%	現状維持		
達成度 評価 根拠	出生数について、現状より増加することを目標とし、各種事業を実施しておりますが、ここ数年の出生数は減少傾向です。新型コロナウイルス感染症が流行後、R2年から特に出生数の減少が目立っていましたが、ここ2～3年は年間出生数30～40人で推移しています。					施策・ 取組	①	出生数（野辺地町調べ） 現状より増加
							②	
							③	
							④	
							⑤	
							⑥	
							⑦	
							強み・弱み	
野辺地町の当該施策における強み（Strength）					野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）			
出生数の増加を目標としておりますが、減少傾向にあるのが現状です。そのため、一人一人の妊産婦、新生児によりきめ細やかな支援を実施できることが町の強みです。					出生数が減少しているため、妊産婦数も少ないのが町の現状です。そのため、妊産婦や乳児へ向けた事業を実施しても参加者数が少なく、妊産婦間での交流がもちづらいことが町の弱みです。			

基本目標④

郷土をますます愛し育む「人財」を育てる ～教育・歴史・文化分野～

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名	
戦略	4	1	「郷土をますます愛し育む「人材」を育てる」～教育・歴史・文化分野～			学校教育課	学校教育		
	施策の達成度評価（A～E）			A：100％程度	D：25％程度	今後の方向性			
	C			B：75％程度	E：0％	拡大			
達成度評価根拠	<p>本町では、施策実現のため、高校生短期講座を年2回（夏期・冬期）開催しています。</p> <p>また、野辺地高校の生徒が作成した学校のPRポスターを近隣市町村に配布し、中学校に掲示してもらうよう依頼しました。</p> <p>しかし、目標値には達しておらず、さらに海外短期語学研修費用の助成については、新型コロナウイルス感染症に伴い、令和3年度以降実施していない現状です。</p>					施策・取組	①	町内高校の魅力向上による入学者の誘引	
							②		
							③		
							④		
							⑤		
							⑥		
							⑦		
強み・弱み									
野辺地町の当該施策における強み（Strength）					野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）				
・近隣では高校がない町村もある中、本町には県立高校1校、私立高校1校があります。					・令和9年3月で八戸学院野辺地西高校が町外に移転します。 ・人口減少に伴い、こどもの人数も減少しています。 ・令和9年度から野辺地高校の学級数が減少します。				

基本目標④

郷土をますます愛し育む「人財」を育てる ～教育・歴史・文化分野～

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名		担当課	担当	記入者氏名
戦略	4	1	(2) 文化財を活用した人材育成と魅力発信		歴史民俗資料館	歴史民俗資料館	
	施策の達成度評価（A～E）		A：100％程度	D：25％程度	今後の方向性		
	B		B：75％程度 C：50％程度	E：0％	現状維持		
達成度評価根拠	本町では、文化財を活用し町の将来を担う人材育成を図るため、学校教育と連携したふるさと学習や地域の歴史や文化財を活用したイベントを行っています。また、これらの事業を町広報誌やSNS、新聞掲載等で情報発信しており、町の魅力発信や地域振興に役立てようとしています。大学や他町と連携した文化財の調査や活用事業も行っており、効果的に目標達成に向けた取組みを行っています。 一方で、学校教育等での学習後、児童・生徒等が学びをさらに深める機会や人材育成に繋げる体制づくりが不十分であり、今後の課題となっています。また、町の歴史や文化財の認知度はまだ不十分であるため、継続した情報発信を行う必要があります。			施策・取組	①	文化財活用調査事業	
					②	文化財とことん活用事業	
					③	ふるさと学習推進事業	
					④		
					⑤		
					⑥		
					⑦		
強み・弱み							
野辺地町の当該施策における強み（Strength）				野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）			
・文化財の活用件数は、増加傾向で推移しています。 ・文化財を活用したイベント等には、町内外からの来客や他町での講演依頼があります。 ・学校教育との連携が図れており、若年層に対して、郷土を知ってもらうきっかけとなる取組みを継続して行うことができます。 ・大学や他町と連携した文化財調査や活用事業を行っており、町単独で実施するよりも効果的に文化財の調査・活用が図れています。 ・町内の文化財保持者や民俗芸能の保存団体等と連携が図れており、子どもたちが直接文化財や民俗芸能に触れる機会が提供されています。				・町の歴史について教える側の人材が不足しています。 ・文化財の調査は年単位となるため、すぐに文化財の研究や情報発信ができません。 ・学校教育との連携が不可欠であるため、学校の方針により事業が実施できなくなる可能性があります。 ・人材育成事業の効果は短期間で把握することができないため、効果検証に時間がかかります。 ・町の文化財を保存している歴史民俗資料館が老朽化しており、施設の大規模な修繕が必要な箇所があります。			

基本目標④

郷土をますます愛し育む「人財」を育てる ～教育・歴史・文化分野～

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名
戦略	4	2	スポーツを通じた心身ともに健康な人づくりの推進			社会教育・スポーツ課	社会体育担当	
	施策の達成度評価（A～E）			A：100%程度	D：25%程度	今後の方向性		
	B			B：75%程度	E：0%	現状維持		
達成度評価根拠	本町では、スポーツを通じた心身ともに健康な人づくりを推進するため、スポーツ団体への補助や全国、東北大会に出場する町内小学校、中学校、高等学校に在籍する個人・団体に対して強化費の支給を行うほか、スポーツ活動において多大な功績や上位入賞の成績を残した方への表彰を行っています。 しかし、少子化や人口減少が進んでいく中で、部活動の地域移行やチーム数の減少に伴う大会予選免除など今後予測される大会内容に見合った成績（表彰）要綱とはいえないのが現状です。また、他市町村に所属し活動している選手も増えてきている中で、現状の補助条件が適正かどうか十分とはいえません。					施策・取組	①	競技スポーツの強化
							②	
							③	
							④	
							⑤	
							⑥	
							⑦	
強み・弱み								
野辺地町の当該施策における強み（Strength）						野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）		
・スポーツ協会、スポーツ少年団などのスポーツ団体が精力的に活動を行っています。 ・競技スポーツ強化支援事業について、団体の経費負担を軽減するだけでなく、選手やチームが好成績を残すことで、町の知名度や評価を高めることに繋がります。						・指導者の高齢化が進んでいるスポーツ団体もあり、新たな人材確保が必要です。 ・スポーツ施設の老朽化に伴い、工事及び修繕による建物の維持管理の必要性が高くなっています。		

基本目標④

郷土をますます愛し育む「人財」を育てる ～教育・歴史・文化分野～

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名	
戦略	4	2	スポーツを通じた心身ともに健康な人づくりの推進			健康づくり課	健康増進担当		
	施策の達成度評価（A～E）			A：100%程度	D：25%程度	今後の方向性			
	B			B：75%程度	E：0%	現状維持			
達成度 評価 根拠	毎年度、事業実施評価を行い、内容等検討をかさねています。新型コロナウイルス感染症が流行時は事業を実施できない期間もあり、事業の利用者数は一時減少しましたが、R5年度から徐々に参加者数が増加してきております。					施策・ 取組	①	事業利用者数（野辺地町調べ） 毎年度600人	
							②		
							③		
							④		
							⑤		
							⑥		
							⑦		
強み・弱み									
野辺地町の当該施策における強み（Strength）					野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）				
町内には町民が利用できる運動施設が複数あります。様々な施設を利用して事業を実施することで、運動習慣が定着する町民が増加することを狙っています。また、事業に継続参加している方は血圧・体重等に良い効果があらわれることがここ数年の結果からわかっています。					現在運動指導を委託している事業所以外に、事業の目的である「メタボリック症候群の予防と改善」のための運動指導を依頼できる健康運動指導士が近隣にほばいないのが町の弱みです。				

1 支えあい切れ目のない保健福祉

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名
総計	1	1	地域福祉の推進			介護・福祉課	地域福祉班	
	施策の達成度評価（A～E）		A：100％程度	D：25％程度	今後の方向性			
	C		B：75％程度	E：0％	現状維持			
達成度 評価 根拠	地域福祉の人材確保という点では、民生委員が欠員を生じており、見守りサポーターの会員についても減少傾向であるため現状維持がやむを得ない状況である。また、団体やボランティアについても高齢化が進んでいることから、今後ますます地域において一人ひとり支え合う意識の醸成が必要と感じる。 その一方で災害時の防災訓練では要援護者（高齢者、障がい者）を交えた合同訓練に参加するなど地域を支え合う意識と一体感を体験できた取組みが出来たため。			施策・ 取組	①	分断的な取組の推進		
					②	支え合う意識の醸成と人づくり		
					③	地域福祉を担う団体等の育成・支援		
					④			
					⑤			
					⑥			
					⑦			
強み・弱み								
野辺地町の当該施策における強み（Strength）					野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）			
・社会福祉協議会との連携が強く、町からの施策に対し主体となって実施している。 ・地域包括支援センターを公立野辺地病院に委託したことで医療と福祉の情報共有が円滑になり、生活困窮者や虐待などの迅速な対応が図られている。					・高齢化が進むなかで地域において支え合う環境づくりとして、既存の団体やボランティアの高齢化と新たな担い手の確保が非常に困難であること。 （高齢化率 R4 38.64％、R5 40.10％、R6 40.73％） ・近所付き合いが希薄になっていること。勤務地が他市町村の場合、地域活動に参加する時間がない。関心がない。			

1 支えあい切れ目のない保健福祉

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名		担当課	担当	記入者氏名
総計	1	2	子育て支援の充実		健康づくり課	子ども家庭総合支援担当	
	施策の達成度評価（A～E）		A：100％程度	D：25％程度	今後の方向性		
	B		B：75％程度	E：0％	拡大		
達成度評価根拠	・町では妊娠・出産から子育てにかかる経済的負担の軽減を図るため、児童手当をはじめとした各種助成事業を実施しています。また経済支援と伴奏型相談支援を一体的に行い精神的負担や不安の解消を図り安心して子どもを産み育てることができる仕組みづくりを構築しています。具体的には、助産師・保健師等の専門職が第1子の妊娠または健康上の問題を生じる可能性のある妊婦を対象に保健師・助産師が訪問を行っています。 ・こども・子育て計画の見込では、保育園・幼稚園のニーズ見込量に対し確保提供数は確保できています。しかし、ここ1、2年の間に保育園の休止や廃止が相次いでいます。また町内唯一の幼稚園の定員数が縮小するなど不安要素が見受けられることから、今後の動向を踏まえ教育・保育サービス提供体制の確保が求められています。		施策・取組	①	子育て家庭への経済的支援		
				②	安心して子どもを産み育てるための環境づくり		
				③	子どもの育ちを支える保育環境づくり		
				④	障がいのある子どもに対する支援の充実		
				⑤	子どもたちの健やかな成長を支援する環境づくり		
				⑥			
				⑦			
強み・弱み							
野辺地町の当該施策における強み（Strength）				野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）			
・妊娠期から子育て期まで切れ目なく必要な支援が受けられる支援体制を整えています。 ・多種多様な相談に対応するため、保健師、助産師、管理栄養士の資格を有する専門職を配置しています。 ・教育・保育施設は、ニーズの量に対して必要な提供数を確保できています。 ・幅広い分野によるサポートが必要な家庭には、保健・医療・福祉・教育機関が連携し包括的に支援しています。				・町内には産科医が不在のため妊娠・出産にあたっては町外の医療機関を選択さざるおえない環境におかれてい ます。 ・小児科医は常勤配置されておらず、養育者の多くが子どもの病院受診に関して不便を感じていま す。 ・働きながら子育てをする家庭が増え、子どもを一時的に預かるサービスへのニーズが高まっています。（開閉所時間の 拡大等） ・安全な環境の中で、安心して子どもを遊ばせながら利用者同士が交流できる遊び場の提供を希望する方が増えていま す。			

28

1 支えあい切れ目のない保健福祉

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名
総計	1	3	高齢者福祉の充実			介護・福祉課	地域福祉班	
	施策の達成度評価（A～E）			A：100%程度	D：25%程度	今後の方向性		
	C			B：75%程度	E：0%	現状維持		
達成度 評価 根拠	高齢者福祉の充実を図るうえで行政だけでは地域づくりを担うことは困難であるが、認知症サポーターの養成を拡充したり、配食サービスの見直し、タクシー助成券や入浴券の回数見直しなど高齢者支援策を講じているため、総体的に現状維持と考えます。					施策・ 取組	①	認知症に優しい地域づくり
							②	地域づくりの積極的な参画
							③	相談援助支援体制の充実
							④	交通弱者対策
							⑤	介護医療に関する情報提供体制の整備
							⑥	介護サービス提供事業者との連携
							⑦	
強み・弱み								
野辺地町の当該施策における強み（Strength）					野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）			
・病院や介護事業所など関係機関との情報提供や連携が図られています。 （地域ケア個別会議、認知症初期集中支援チーム、受任調整会議など） ・高齢者が社会参画できる環境づくりとして、社会福祉協議会が事務局となっているシルバー人材センターの加入数が増加しています。					・認知症に優しい地域づくりにおいて人材育成は欠くことが出来ない取組みですが、少子化により子どもの数が減少しています。 特に地元の高校への進学者が少ない状況となっています。 ・高齢者にとって交通手段が不便であるため、その解消策としてタクシー助成券の枚数を増やすなど取組んできましたが、町内の民間介護タクシーが廃業したことが多少なりとも影響しています。			

1 支えあい切れ目のない保健福祉

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名	
総計	1	4	障がい者福祉の充実			介護・福祉課	地域福祉班		
	施策の達成度評価（A～E）			A：100％程度	D：25％程度	今後の方向性			
	B			B：75％程度	E：0％	現状維持			
達成度評価根拠	障がい者（児）に対するサービスの需要が顕著であり、ニーズに応じて施策を講じてきました。相談支援員や医療的ケア児のコーディネートなど、更に今後は19歳以上に補聴器補助を予定しています。これらを踏まえ、相応の達成と評価しています。					施策・取組	①	福祉サービスの充実	
							②	保険・医療サービスの充実	
							③	交流・社会参加の促進	
							④	生活環境の整備	
							⑤	理解・啓発活動の推進	
							⑥		
							⑦		
強み・弱み									
野辺地町の当該施策における強み（Strength）					野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）				
・障がいのある人向けに交流の場として「めぐみの会」を長年設立しており、発展要素の高い交流の場となっています。 ・障がいサービスのガイドブックを作成し、初めての人にもわかりやすく対応できるようにしました。 ・相談支援員を事業所から選任しており、町と事業所との連携強化に努めています。					・障がい者に対する地域住民の理解。 ・相談しやすい環境づくり。 ・生活支援に向けケースに応じて対応できる専門性の高い職員の配置またはスキルアップ。				

1 支えあい切れ目のない保健福祉

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名	
総計	1	5	健康づくりの推進			健康づくり課	健康増進担当		
	施策の達成度評価（A～E）			A：100%程度	D：25%程度	今後の方向性			
	C			B：75%程度	E：0%	現状維持			
達成度評価根拠	・町民が自分の健康に関心を持ち主体的に健康づくりに取り組めるように、ライフサイクルごとに各種健康づくり事業を展開しています。成人分野では特定健診及びがん検診を重点事業に位置づけが受けやすい体制を整え実施しています。具体的には、生活習慣病の早期発見を目的とした特定健診とがん検診を一日で受けることができる同時実施、平日休みがとりづらい方のために健診日を土日に設定、医療機関での受診を可能にするなど、工夫を凝らし健診受診率の向上にむけ取組を進めています。しかしながら、本計画で定めた目標の達成には至っていません。考えられる要因の一つとして新規受診者数の伸び悩みが挙げられます。 ・全世代に共通する健康づくりの3本柱である食生活、運動、休養がバランス良く保たれる健康習慣の定着にむけ専門職が中心となって医療機関と連携を図り保健事業を実施しています。					施策・取組	①	健康診査、がん検診の充実	
							②	若い世代からの健康診査の実施	
							③	運動習慣の定着	
							④	心の健康づくり	
							⑤	むし歯予防の知識の啓発	
							⑥	母子保健事業の推進	
							⑦	食物アレルギーの正しい知識の啓発	
強み・弱み									
野辺地町の当該施策における強み（Strength）						野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）			
・特定健診及びがん検診は、ほぼ通年をとおして受診できる体制が整備されています。 ・町内歯科医療機関が充実しています。 ・食生活改善推進員、健康づくりサポーター等、健康づくりに関する自主活動組織と行政の連携が図られています。						・特定健診及びがん検診の受診率が低迷しています。 ・レセプトによる分析から病気が重症化してから医療機関を受診する傾向にあります。 ・3歳児のむし歯有病率が国・県に比べ高い状況にあります。			

1 支えあい切れ目のない保健福祉

総計/戦略	基本目標No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名
総計	1	6	社会保障等の充実			町民課	国保・後期高齢者医療・年金	
	施策の達成度評価（A～E）			A：100％程度	D：25％程度	今後の方向性		
	B			B：75％程度	E：0％	現状維持		
				C：50％程度				
達成度評価根拠	①国民健康保険の健全・適正な運営について、医療費をわずかに抑制できています。 ・国民健康保険1人当たり保険給付額(3カ年平均) 357,732円(2023実績)→354,805円(2024見込値)				施策・取組	①	国民健康保険の健全・適正な運営	
	②後期高齢者医療保険の健全・適正な運営について、健康診査受診者が微増しています。 ・後期高齢者医療保険の健康診査受診者数 432人(2023実績)→441人(2024見込値)					②	後期高齢者医療保険の健全・適正な運営	
	③国民年金の啓発・相談活動の推進について、事務処理件数が前年より増える見込みです。 ・国民年金事務の年間処理件数 483人(2023実績)→530件(2024見込値)					③	国民年金の啓発・相談活動の推進	
						④		
						⑤		
						⑥		
						⑦		
強み・弱み								
野辺地町の当該施策における強み（Strength）					野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）			
①国民健康保険においては、町と青森県(定期的な事務指導の実施等)と県国保連合会(医療費適正化事業の委託体制)との協力体制ができています。					①国民健康保険においては、人口減少に伴う被保険者数の減少。			
②後期高齢者医療保険においては、町と県後期高齢者医療広域連合との協力体制ができています。					②後期高齢者医療保険においては、高齢者人口の増加や医療の高度化による費用負担の増加。			
③国民年金事務においては、町と日本年金機構(青森年金事務所等)との協力体制ができています。					③国民年金事務においては、高齢者人口の増加による事務量の増加。			

2 工夫と連携の地域産業

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名	
総計	2	1	農林業の振興			産業振興課	農業担当		
	施策の達成度評価（A～E）			A：100%程度	D：25%程度	今後の方向性			
	B			B：75%程度	E：0%	現状維持			
達成度評価根拠	耕作されない農地が発生することを防ぐため、また、農地の集積・集約化の推進を図るため、農業者や地域の皆さんの話し合いにより策定される地域の将来の農地利用の姿を明確化した地域計画を策定いたしました。また、新規就農者の育成強化の取組として、国事業活用後も支援する必要があることから、経営支援事業の活用を実施いたしました。対象者は1名であり、交付金を活用しながら前向きに農業に従事しております。その他、農業経営を安定するため、経営所得安定対策の実施及び野辺地町農業振興事業等の様々な補助事業を実施いたしました。 以上の取組を実施したことで、野辺地町の農業者で離農者はおらず、新規就農者においても、国県町の補助金等を活用して農業に従事したい旨の相談などもあり、全体的に前向きな方向に進んでおります。					施策・取組	①	農地の集積・集約化の推進	
							②	新規就農者の育成強化の取組	
							③	経営継続支援の取組	
							④	経営所得安定対策の推進	
							⑤		
							⑥		
							⑦		
強み・弱み									
野辺地町の当該施策における強み（Strength）						野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）			
・農業者や地域の方との話し合いにより、各地域の農地に対する問題意識が高まっています。 ・様々な補助事業等を活用したことで、担い手の減少を防ぐことができました。						・近年の異常気象及び資材高騰に伴い、経営規模を拡大される方が少ない傾向にあります。 ・高齢化及び後継者不足により、経営規模を拡大できないため、国や県の補助金を活用できない者も出てきております。			

2 工夫と連携の地域産業

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名
総計	2	2	水産業の振興			産業振興課	農林水産	
	施策の達成度評価（A～E）			A：100%程度	D：25%程度	今後の方向性		
	B			B：75%程度	E：0%	拡大		
達成度 評価根拠	水産業の振興のため、販路拡大・インフラ整備・資源確保のため支援を行ってきております。しかし近年の夏場における気象の変化に水産物は大きな影響を受け、今後の水産業に不安があります。					施策・ 取組	①	養殖漁業の振興
							②	水産資源の保護・拡大
							③	経営基盤の強化
							④	
							⑤	
							⑥	
							⑦	
強み・弱み								
野辺地町の当該施策における強み（Strength）						野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）		
・野辺地町漁業協同組合はホタテガイの対EU輸出向け水産物食品登録事業者としてHACCP認証を取得し輸出をするなど、県内においても水産物販路拡大の先進地となっています。 ・ホタテガイ及びナマコについて、生産管理出荷情報システム（トレーサビリティシステム）を導入し品質管理を行うとともに、地まきホタテを「ちまきほたて」として商標登録し水産物の付加 価値向上に努めています。 ・大手量販店のプライベートブランドとしてホタテガイでは全国初、青森県の水産物でも初の「顔が見えるお魚（ホタテガイ）」に登録され取引を開始し出荷量も向上しています。 ・高度衛生化に対応した荷さばき施設を建設したことで、安心・安全な水産物の供給を図ります。						・気象条件によって、生産に大きな影響があります。 ・ホタテ養殖作業の場として利用される船揚場は、背後用地が狭いことからインフラ整備が必要です。 ・さけますふ化場は老朽化しており、また、新たな取組へも対応していないことから整備が必要です。		

2 工夫と連携の地域産業

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名	担当課	担当	記入者氏名	
総計	2	3	商工業の振興（商工業振興事業）	産業振興課	商工観光交流		
施策の達成度評価（A～E）			A：100%程度	D：25%程度	今後の方向性		
B			B：75%程度	E：0%	現状維持		
			C：50%程度				
達成度評価根拠	町内事業者をはじめ、野辺地町商工会や各商店会に補助金を交付することにより、商工業の活性化と振興を図ることを目的としています。しかし、新型コロナウイルスや物価高騰等の影響により、経営困難な事業者が相次いでおり、地域経済の停滞やコミュニティ衰退等が問題となっております。 むらおこし物産加工施設については、（一財）野辺地町観光協会が運営管理及びカワラケツメイ茶加工品の製造も行っております。しかし、施設の老朽化や一般団体への貸出には、条例改正や施設の大規模改修工事等が必要となることが考えられます。今後の要望や財政状況等も含め、十分な検討が必要であります。			施策・取組	①	持続的な経営に向けた支援	
					②	町内事業者への注意喚起の取組	
					③	特産品・販売力強化の推進	
					④		
					⑤		
					⑥		
					⑦		
強み・弱み							
野辺地町の当該施策における強み（Strength）				野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）			
・商工会とは、各種イベントや事業等を共同で行うことが多いため、繋がりは強いと思います。 ・近隣市町村と比べ、事業者を対象とした補助金や保証料補給制度に加え、各種団体への幅広い補助を行っています。 ・（一財）野辺地町観光協会が施設の運営・管理業務を行うことにより、委託費の削減効果があります。				・町内事業者の高齢化や新型コロナウイルス、物価高騰の影響により、商店街の過疎化が止まらない状況にあります。 ・新規事業者からの問い合わせや要望等の声が減少傾向にあります。 ・施設内の設備機械が特殊な為、ほぼ使われておらず、保守点検もされていないことから、デッドスペースとなっている状況にあります。 ・特産品開発団体からの貸出要望がほぼない状況にあります。			

2 工夫と連携の地域産業

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名
総計	2	4	観光の振興			産業振興課	商工観光交流	
	施策の達成度評価（A～E）			A：100%程度	D：25%程度	今後の方向性		
	C			B：75%程度	E：0%	現状維持		
達成度評価根拠	新型コロナウイルス感染症も落ち着き観光入込客も約70%ほど戻りつつあり、各種イベントについても通常どおり開催できております。しかし、十分な取組ができていない面もあります。各種イベントの運営方法等の見直しや、各スポット・施設の老朽化も進んでおり対応が必要であります。また、観光のみならず地域資源の魅力や認知度向上のためのSNS等を活用した、情報発信も十分に実施できておりません。					施策・取組	①	下北半島縦貫道路の延伸を活用した観光振興策
							②	まちなかへ誘客する取組
							③	訪日外国人観光客への対応
							④	
							⑤	
							⑥	
							⑦	
強み・弱み								
野辺地町の当該施策における強み（Strength）						野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）		
・一年を通して様々なイベント等が充実しています。（春まつり・祇園まつり・イルミネーション等） ・日本遺産「荒波を越えた男たちの夢を紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」をはじめとした、自然・食・歴史・文化等の特有の観光資源が充実しています。 ・当町には青い森鉄道「野辺地駅」があるほか、東北新幹線「七戸十和田駅」からも、車で1時間圏内と交通アクセスに利便性があります。						・観光スポット・施設の老朽化等により、修繕工事等が必要です。 ・外国人観光客の受入環境が不足しています。 ・地域資源を活用したPR（誘客・宣伝）・商品開発が必要です。 ・各種産業団体・観光協会等の関係機関と連携が必要です。		

2 工夫と連携の地域産業

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名
総計	2	5	雇用促進・労働環境の改善			産業振興課	商工観光交流	
	施策の達成度評価（A～E）		A：100％程度 B：75％程度 C：50％程度		D：25％程度 E：0％		今後の方向性	
	B						現状維持	
達成度評価根拠	工業団地は、H20年にサントリー（株）より譲渡いただいた用地であり、製造業等の工場立地には至っておりませんが、太陽光発電事業者（NRE）に一部貸付を行っております。 企業誘致活動については、町議会議員を通じて、令和4年度に（株）永木精機の誘致に成功しております。それに伴い、企業立地促進・雇用増大を図るため、企業立地助成金交付要綱の新設も行いました。					施策・取組	①	地元雇用の拡大
							②	町外からの労働力拡大
							③	創業支援の充実
							④	雇用を生む企業誘致
							⑤	
							⑥	
							⑦	
							強み・弱み	
野辺地町の当該施策における強み（Strength）					野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）			
・企業立地に関する助成金制度が充実しております。 ・工業団地は、近隣に住宅地が少ないため、騒音等のリスクが少ないものと考えられます。 ・烏帽子岳のふもとであることから、地下水資源が豊富であると考えられます。（飲料水・酒製造に有利）					・主要な交通体系から外れており、物資の運搬等の面から不利となっております。 ・区画整備された箇所が、全体の面積に対して2割程度と非常に限られております。 ・大部分が山林に覆われており、起伏も激しいことから、工場建設等には非常に不向きであります。 ・工業団地は、山間部であることから、降雪量が非常に多く、除雪費用等も発生します。また、二本木川の上流部があることから、水質基準や「野辺地川漁協組合」との協議が必要となります。			

3 誰もが学べる教育

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名		担当課	担当	記入者氏名
総計	3	1	学校教育の充実		学校教育課	学校教育	
	施策の達成度評価（A～E）		A：100％程度	D：25％程度	今後の方向性		
	B		B：75％程度	E：0％	拡大		
達成度評価根拠	本町では、令和2年に働き方改革プランを作成し、教員の時間外勤務時間を原則45時間以内にすることを目標としました。しかし、現状では中学校においては約半数の者が月45時間を超過している状態となっており、それにより児童生徒に向き合う時間が十分に取れていない面があります。				施策・取組	①	学力向上と一人ひとりのきめ細やかな教育の推進
						②	心と体づくりの推進
						③	安全で安心な教育環境の整備
						④	
						⑤	
						⑥	
						⑦	
強み・弱み							
野辺地町の当該施策における強み（Strength）				野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）			
・教材のデジタル化に伴い、タブレット端末を効果的に活用した授業が展開されるようになり、それをサポートするICT支援員を配置しています。 ・相談室を設置しているため、学校に行きづらい児童生徒の教育機会の確保ができています。 ・スクールサポーターを配置しているため、障がいのある児童生徒だけでなく、その他の気になる行動がある児童生徒の学習活動の支援にも対応できています。 ・安全安心な教育環境づくりのため、現在統合小学校新築事業を進めています。				・教員の時間外勤務の削減が求められています。			

3 誰もが学べる教育

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名		担当課	担当	記入者氏名
総計	3	2	生涯学習の推進		社会教育・スポーツ課	社会教育担当	
	施策の達成度評価（A～E）		A：100％程度	D：25％程度	今後の方向性		
	B		B：75％程度	E：0％	現状維持		
達成度評価根拠	本町では、一般、高齢者向けの学習講座として「のへじ生涯学習大学」と「のへじ元気講座」を開講し、町内の小中学校、幼稚園、保育園の要望に応じて家庭教育講座等を実施しています。また、学びの場となる図書館をはじめとする社会教育施設の利用促進を目指していますが、施設の老朽化が進んでいるほか、男性や若年層の学習事業への参加が少ない、学んだ成果を活かす環境の整備不足などの課題があります。				施策・取組	①	生涯を通じた学びと社会参加の推進
						②	活力ある持続可能な地域づくりに向けた人材の育成
						③	学校・家庭・地域の協働による教育力の向上
						④	社会教育推進のための基盤整備
						⑤	
						⑥	
						⑦	
強み・弱み							
野辺地町の当該施策における強み（Strength）				野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）			
・長年にわたり一般と高齢者向けの講座を継続して実施しており、学び続けることができる環境を提供しています。 ・県内で執筆活動をしている作家を講師に読書講演会を開催し、郷土への興味や関心、読書に「親しむ」「深く楽しむ」機会の提供、町民の読書活動の推進を図っています。				・若年層の学習事業への参加者数が少なく、参加意欲が湧くような学習内容の策定や参加への呼びかけを図る必要があります。 ・子育て世代へのPR、親子で参加できる事業の開催が望まれます。			

3 誰もが学べる教育

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名	
総計	3	3	スポーツの推進			社会教育・スポーツ課	社会体育担当		
	施策の達成度評価（A～E）			A：100％程度	D：25％程度	今後の方向性			
	B			B：75％程度	E：0％	現状維持			
達成度評価根拠	<p>本町では、「する・観る・支える」の視点からスポーツに親しむ環境づくりをめざすため、主にスポーツ施設の適正な維持管理及び競技力向上をもって県大会や東北・全国大会レベルの大会に出場し活躍できる選手の育成強化に資する事業を行っています。</p> <p>しかし、スポーツ施設の老朽化に伴い設備の不具合が頻繁に発生し、限られた予算内での整備となることから利用満足度としては十分とはいえない状況です。</p> <p>また、コロナの影響やインターネット普及に伴い屋外で遊ぶことやスポーツ活動などすることも減少している状況に対し、スポーツイベントや講習会など町民へのスポーツの生み出す効果や魅力を発信する機会があまり実施できていません。</p>					施策・取組	①	『するスポーツ』の環境づくり	
							②	『観るスポーツ』の環境づくり	
							③	『支えるスポーツ』の環境づくり	
							④		
							⑤		
							⑥		
							⑦		
強み・弱み									
野辺地町の当該施策における強み（Strength）					野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）				
・県内各市町村で登録しているスポーツ団体の中でも、比較的当町のスポーツ団体数は充実しています。（令和6年度 スポーツ協会 20 スポーツ少年団 10） ・ハンドボール、クロスカントリースキー、レスリングなど個人や団体において、東北や全国大会で好成績を納めています。（プロや社会人で活躍する選手も数多く輩出しています） ・令和8年度に国民スポーツ大会開催県として、ハンドボール競技が当町で開催されます。					・老朽化しているスポーツ施設が多く、維持管理の必要性が高くなっています。 ・スポーツを楽しむ環境づくりの観点から、スポーツイベントや当町出身の選手を応援する機会の提供が必要です。				

3 誰もが学べる教育

総計/戦略	基本目標No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名	
総計	3	4	文化・芸術活動の推進			中央公民館・歴史民俗資料館	中央公民館		
施策の達成度評価（A～E）			A：100%程度	D：25%程度	今後の方向性				
B			B：75%程度	E：0%					
			C：50%程度		現状維持				
達成度評価根拠	・本町では、町民の自主的な文化・芸術活動を図るため、町民参加の町文化祭の実施や、子どもが町の文化に触れる機会とするための文化少年団の結成・活動を行っています。 しかし、町文化祭参加者の高齢化や新規参加者の獲得に十分な対応ができていない面もあり、文化祭発表団体及び作品展示団体数が減少しています。 ・歴史や郷土資料等の文化財の保存・活動については、子どもたちに地域の歴史を知ってもらい、地域への愛着と関心を持ってもらうことを目的に、学校と連携しふるさと学習やふるさと検定「のへじ検定」を実施するとともに、国指定重要文化財「土偶（愛称縄文くら）」や日本遺産を活用した情報発信に取り組んでいます。 しかし、民俗芸能を行う団体や歴史・文化を後世に伝えるボランティアガイド等の人材の確保や育成について、団体の支援ニーズを聞き取り調査をしている段階であるため、現段階では十分な取組に至っていません。			施策・取組	①	郷土を愛する心と人材の育成			
					②	歴史・文化・芸術の継承と活用			
					③	郷土史資料や文化財の保存・活用の促進			
					④				
					⑤				
					⑥				
					⑦				
強み・弱み									
野辺地町の当該施策における強み（Strength）					野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）				
・中央公民館では「みんなの教室」や「文化少年団」の事務局を行っており、文化・芸術に関する自主活動サークルが活動できる支援体制が整っています。 ・町文化祭の開催により、自主活動サークルが学びを活かす機会が提供されています。 ・町内各学校と歴史民俗資料館の連携がとれており、文化財や地域の歴史を知る学習が継続して実施できています。 ・他町と連携した日本遺産に関する歴史や民俗芸能を活用した取組みが行われています。 ・大学と歴史民俗資料館が連携した地域の歴史に関する調査が行われており、職員が少ない中での工夫した取組みが行われています。					・中央公民館で行う「みんなの教室」や自主活動サークルの参加者の高齢化が進んでいます。 ・文化・芸術活動に関する自主活動サークルの指導者の高齢化が進み、指導人材が不足しています。 ・少子高齢化等の影響により、民俗芸能や祭りに参加する人材が減少してきています。 ・地域史を学習した児童・生徒が地域に学びを活かす場の提供や、民俗芸能を行う団体やボランティアガイド団体と結びつける取組みが必要となっています。 ・学芸員や図書館司書等の専門知識を有した人材が不足しています。 ・中央公民館や図書館、歴史民俗資料館が老朽化しており、毎年修繕が必要です。				

3 誰もが学べる教育

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名
総計	3	5	交流活動の推進			産業振興課	商工観光交流	
	施策の達成度評価（A～E）		A：100%程度	D：25%程度		今後の方向性		
	B		B：75%程度	E：0%		現状維持		
達成度評価根拠	本町では、埼玉県久喜市と友好都市協定、香川県土庄町とは友好公園を締結しています。 久喜市とは、両市町のイベント時に特産品販売を行っています。また、平成30年には災害時における相互応援に関する協定を結びました。 令和6年度には両市町の商工会が全国初の友好商工会を締結し、自治体の交流に留まらず、関係団体間での交流も進んでおります。 土庄町とは、遠方のため、直接的な交流は少ないですが、毎年ふるさと物産テント市開催時は、特産品を取り寄せて販売を行っています。				施策・取組	①	地域間交流活動の推進	
						②	それぞれと組織と連携した推進	
						③		
						④		
						⑤		
						⑥		
						⑦		
強み・弱み								
野辺地町の当該施策における強み（Strength）					野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）			
・久喜市とは毎年度、各市町に交流事業を行っているため、特に交流が深いです。 ・災害時における相互応援を協定しています。 ・商工会やロータリークラブなど関係団体同士の交流も深いです。					・交流都市が少なく、交流事業が少ないです。			

4 住み続けたいくなる生活環境

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名	
総計	4	1	消防・防災・救急医療対策の強化			防災管財課	防災安全担当		
	施策の達成度評価（A～E）			A：100%程度	D：25%程度	今後の方向性			
	C			B：75%程度	E：0%	現状維持			
達成度評価根拠	<div>・消防団員数は、令和3年時の201名から令和7年の見込み数で167名と大きく減少しています。</div> <div>・町が行う防災訓練は、津波、地震等を想定した総合防災訓練及び県原子力訓練と合わせて実施する町原子力防災訓練の2つを実施しており、目標値を達成しています。</div> <div>・救急医療体制は、地元消防署に令和3年度に新規救急車が配備となり救急体制は充実しています。</div>					施策・取組	①	消防体制の充実	
							②	防災・減災体制の充実	
							③	救急医療体制の維持	
							④		
							⑤		
							⑥		
							⑦		
強み・弱み									
野辺地町の当該施策における強み（Strength）					野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）				
町の消防団員数は減少傾向にありますが、所属する団員それぞれの出勤状況は良好であり、個々の意識は高いものと感じます。また、防災訓練実施時には、平日等であっても多くの住民の参加があり、住民の防災に対する意識は高いものと感じます。					消防団員数の減少傾向は続くものと考えます。また、防災訓練に参加する自主防災組織の役員（自治会の役員）の高齢化があり、別世代への参加促進が必要です。				

4 住み続けたいくなる生活環境

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名	
総計	4	2	道路及び公共交通の整備・充実			建設水道課	基盤整備担当		
	施策の達成度評価（A～E）			A：100％程度	D：25％程度	今後の方向性			
	B			B：75％程度	E：0％	現状維持			
達成度 評価 根拠	予定した道路改良や修繕、水路工事等について早期発注、年内完成を目標として実施しました。 結果、渇水期でなければ実施できない道路橋工事を除き、年内に完成させ町民の生活環境の改善を図りました。しかしながら、町道の維持的な舗装補修や側溝の一部修繕、泥上げ等の要望には早急に対応しているが増加傾向にあります。 冬季の除雪は計画の方針を定め、道路除雪延長105.7km、歩道除雪延長は国県道を含め13.1kmを実施しました。また、凍結によりスリップの恐れのある箇所、交差点、坂道等は凍結防止剤散布を業者委託しているほか、その箇所付近の住民の協力を得ながら散布し、安全を確保しました。					施策・ 取組	①	公共交通の利便性の向上	
							②	計画的な道路網の整備	
							③	身近な道路の整備・充実	
							④	道路ストック対策の推進	
							⑤		
							⑥		
							⑦		
強み・弱み									
野辺地町の当該施策における強み（Strength）					野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）				
各町道から主要幹線道路となっている国道4号、279号、県道野辺地停車場線、馬門野辺地線など比較的に拡幅された道路網が町内中心部にあることで、町内の商店街や他市町村へのアクセスが容易となっています。					JR東日本や青い森鉄道の線路用地を跨いで道路側溝等が整備されている。排水対策するうえで線路敷を含めた整備計画は相当の費用が発生し、協議にも相当の時間を要することから既存設備（排水設備等）へ接続が主となっており、新設や改良が困難となっています。				

4 住み続けたいくなる生活環境

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名
総計	4	2	防犯・交通安全対策の充実			防災管財課	防災安全担当	
	施策の達成度評価（A～E）		A：100％程度 B：75％程度 C：50％程度		D：25％程度 E：0％	今後の方向性		
	B					現状維持		
達成度 評価 根拠	・特殊詐欺をはじめとした犯罪は、防犯関係団体が各種の活動を行っていることにより低い発生件数となっていますが、完全に無くなることはありません。 ・交通死亡事故は、令和4年10月に1件の事故以来の発生はありません。					施策・ 取組	①	交通安全活動
							②	防犯活動
							③	パトロール活動
							④	交通安全施設の整備
							⑤	
							⑥	
							⑦	
野辺地町の当該施策における強み（Strength）						野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）		
町内における防犯・交通安全各団体は、その団体の計画により積極的な活動を実施しており、その結果として、低い犯罪発生件数や交通死亡事故の発生が無い等の結果としてあらわれています。町は、補助金の交付や活動支援等によりその活動がより実りあるものとなるよう努めています。						各関係団体構成会員の高齢化及び会員数の減少が懸念されます。		

4 住み続けたいくなる生活環境

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名
総計	4	3	道路及び公共交通の整備・充実			企画財政課	企画政策担当	
	施策の達成度評価（A～E）			A：100％程度	D：25％程度	今後の方向性		
	D			B：75％程度	E：0％	その他		
達成度評価根拠	公共交通について、鉄道は青い森鉄道線、JR大湊線の2路線があります。青い森鉄道線は、県や沿線自治体等からなる青い森鉄道線活用推進協議会にて利用者増加への取組みを行っています。JR大湊線に関しては赤字額が公表され、むつ市、横浜町を含む沿線自治体で大湊線活性化協議会を立ち上げ、利用者を増やす取組みを模索しているところです。 バス交通については、路線バスが2社乗り入れており、運行経費に関しては、すべて赤字路線であり、国、県及び路線上の自治体が一部補助をして維持している状態です。利便性の面では利用しやすい状況にあるとは言えず、事業者サイドの運転手不足などの面からも将来のあり方について模索している状況です。					施策・取組	①	公共交通の利便性の向上
							②	
							③	
							④	
							⑤	
							⑥	
							⑦	
強み・弱み								
野辺地町の当該施策における強み（Strength）						野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）		
・町の端から中心部まで車で15分程度の町自体がコンパクトシティであること、縦長の形状から、多数の路線を必要としないことです。 ・国道2路線、鉄路が通っていることから交通の便が良いことです。						・六ヶ所方面へバス路線の代替交通がないことです。 ・事業者あつての交通形態であることです。 ・掛かる経費が増えていることです。 ・利用者が減少していることです。 ・路線が長く乗降者が少ないエリアが多いため、平均乗車密度が低いことです。		

4 住み続けたいくなる生活環境

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名
総計	4	4	上水道の維持・整備			建設水道課	水道事業	
	施策の達成度評価（A～E）		A：100％程度	D：25％程度		今後の方向性		
	B		B：75％程度 C：50％程度	E：0％		拡大		
達成度 評価 根拠	本町では、限られた予算の中、管路・施設・設備の更新や廃止などを行ってきましたが、給水人口が年々減少し、それに伴って給水収益も減少してきていることから、満足な施設整備ができていない状態であります。しかし、水道料金改定を進めており、整備するための財源確保に努めています。				施策・ 取組	①	強靱な水道供給体制の構築	
						②	効率的な運営体制の構築	
						③	安定した水の供給	
						④	未普及地域の解消	
						⑤		
						⑥		
						⑦		
強み・弱み								
野辺地町の当該施策における強み（Strength）					野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）			
・当町は自噴している地下水を水道水としているため、多量の薬品を必要とせず、非常においしい水道水を提供しています。					・令和5年度の有収率は73.35%で令和元年以降年々低下しています。これは老朽管からの漏水が原因で、莫大な費用をかけた更新が必要です。			
・令和7年度に水道料金改定を予定しており、今後3～5年毎に改定を予定していることから、給水収益を施設改良費へ充てることができます。					・人口減少に伴い、給水収益の低下は今後加速していく見込みです。			

4 住み続けたいくなる生活環境

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名	
総計	4	5	土地の有効利用			建設水道課	都市計画担当		
	施策の達成度評価（A～E）		A：100％程度	D：25％程度	今後の方向性				
	B		B：75％程度	E：0％	現状維持				
達成度評価根拠	本町では、土地利用計画に基づき提出された土地売買等の届出書の適否について野辺地町土地利用対策会議において判断しています。 また駅前広場については、現在整備を完了しており、パトロール等を行い、必要に応じて修繕及び施設の改修をしています。				施策・取組	①	調和のとれた土地利用の促進		
						②	野辺地駅周辺の整備		
						③	優良農地の保全		
						④			
						⑤			
						⑥			
						⑦			
強み・弱み									
野辺地町の当該施策における強み（Strength）					野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）				
・駅前広場について、バリアフリーに配慮しています。 ・駅前広場に駐車場を併設していることから、利便性が高くなっています。					・財政難により、必要な修繕箇所へ十分な予算が配分されない可能性があります。 ・冬季において、一般へ開放している一時駐車場へ雪を堆積しているが、直営で排雪しているため、すぐ排雪できません。				

4 住み続けたいくなる生活環境

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名
総計	4	5	土地の有効利用			産業振興課	農業担当	
	施策の達成度評価（A～E）		A：100%程度	D：25%程度	今後の方向性			
	B		B：75%程度	E：0%	現状維持			
達成度評価根拠	これまで、地域での話し合いにより、人・農地プランを作成・実行して来ましたが、今後、高齢化や人口減少の本格化により農業者の減少や耕作放棄地が拡大し、地域の農地が適切に利用されなくなることが懸念されるため、不耕作地となる農地が発生しないよう農業者や地域の皆さんの話し合いにより策定される地域の農地利用の姿を明確化した地域計画を策定しました。					施策・取組	①	農地の集積・集約化の推進
							②	
							③	
							④	
							⑤	
							⑥	
							⑦	
強み・弱み								
野辺地町の当該施策における強み（Strength）						野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）		
・農業者や地域の方との話し合いにより、各地域の農地に対する問題意識が高まりました。 ・地図に将来の耕作者を落とし込むことで、農地の将来の耕作者が明確化することができました。						・農業者の計画通りに農地の集積集約が進まない現状であります。		

4 住み続けたいくなる生活環境

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名
総計	4	6	住環境の改善			企画財政課	企画政策担当	
	施策の達成度評価（A～E）		A：100%程度	D：25%程度	今後の方向性			
	C		B：75%程度	E：0%	拡大			
達成度評価根拠	これまでほとんど手付かずであった空き家等バンクについて、令和3年度より取組みを進めています。令和4年度からは固定資産税納税通知書ヘチラシを同封する取組みにより、少しずつ認知され、登録、成約件数も増えています。しかしながら、制度利用をしたい方からすれば十分な登録件数になっていないと思われるため、さらに取り組む必要があります。				施策・取組	①	空き家等の利活用と移住・定住の推進	
						②		
						③		
						④		
						⑤		
						⑥		
						⑦		
強み・弱み								
野辺地町の当該施策における強み（Strength）					野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）			
・町内における空き家等の件数はかなり多いことから、移住者に向けて有効に活用できるポテンシャルは高いと考えられます。 ・全国版空き家バンクと連携しており、多くの方が物件を閲覧できる環境にあります。					・現状、空き家等バンクでの利活用以外に具体的な空き家の対策が行われていません。 ・移住者に対しては豪雪地帯であることがデメリットになっている方が多いと思われます。 ・町内の仲介業者の協力が不足しています。 ・庁内における連携が不足しています。 ・活用可能な空き家等の登録件数が少ない状況です。			

4 住み続けたいくなる生活環境

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名
総計	4	6	住環境の改善			建設水道課	都市計画担当	
	施策の達成度評価（A～E）			A：100％程度	D：25％程度	今後の方向性		
	B			B：75％程度	E：0％	拡大		
達成度 評価 根拠	公園においては、遊具点検に基づき遊具の更新及び修繕を行っています。 災害に強いまちづくりにおいては、本町は木造住宅耐震診断事業及びブロック塀等耐震改修促進事業を実施して、建築物の耐震化を推進しています。しかし、工事費及び住宅耐震改修事業の未実施等の要因により、住宅の耐震化が進んでいません。				施策・ 取組	①	公園の管理・整備	
						②	災害に強いまちづくり	
						③	空き家の活用と移住の促進	
						④	光ファイバ網の安定した管理・運営	
						⑤	光ファイバ網の利活用	
						⑥		
						⑦		
強み・弱み								
野辺地町の当該施策における強み（Strength）					野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）			
・各児童公園は、維持管理を各自治会へ委託しており、協同のまちづくりの場となっています。 ・災害に強いまちづくりについては、木造住宅耐震診断事業及びブロック塀等耐震改修促進事業を実施しております。					・児童公園の遊具について、十分な予算が配分できなく、遊具更新についてはコミュニティ助成事業などの補助金頼みとなっております。修繕をしながら使い続けています。 ・木造住宅耐震診断事業及びブロック塀等耐震改修促進事業を実施していますが、住宅の耐震改修を未実施であるため、住宅の耐震化が進んでいません。			

4 住み続けたいくなる生活環境

総計/戦略	基本目標No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名	
総計	4	6	住環境の改善			産業振興課	商工観光交流		
	施策の達成度評価（A～E）		A：100%程度	D：25%程度		今後の方向性			
	B		B：75%程度 C：50%程度	E：0%		現状維持			
達成度評価根拠	愛宕公園は、桜の景勝地として知られ、町民の憩いの場として親しまれています。町では、公園管理をはじめ、公園利用者の満足度向上のための整備工事等を行っています。しかし、施設の老朽化や桜の腐食が進んでいることから、施設維持に加えて、景観保全にも努めていきます。海浜公園は、町・県と共同で整備が行われた施設であり、町内外から多くの来場者が訪れております。当町では、環境整備作業や管理業務及び修繕工事を実施しておりますが、整備されてから約30年が経過し、施設や機械設備の老朽化が激しく、修繕箇所が年々増えてきているのが実情であります。					施策・取組	①	公園の管理・整備	
							②		
							③		
							④		
							⑤		
							⑥		
							⑦		
野辺地町の当該施策における強み（Strength）						野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）			
・桜の景勝地となっており、子育て世代の貴重な遊び場として利用されています。 ・イベント会場として活用できます。（春まつり・イルミネーション等） ・コミュセン管理を「上袋自治会」に委託しており、雇用費用を安価に抑えられています。 ・石川啄木の歌碑や松尾芭蕉等の句碑等の歴史的なものが多くあります。 ・野辺地水泳協会へ委託することにより、経費がかなり抑えられています。 ・波が穏やかであり、水質検査でも「AA」の評価をもらっております。 ・海水浴場駐車場は四阿やトイレ等も完備されており、展望台からは絶景を楽しむことができます。 ・シーズン期間中は、温水シャワーや飲食販売店もあることから、来場者が快適に利用できるようになっております。						・駐車スペースが少ないため、イベントの際は、野小グラウンドを使用しています。 ・利用者数に対して、遊具が少ないです。 ・施設、機械設備の老朽化が進んでいます。 ・老木、腐食木等の増加により、安全面や景観面での支障になっています。 ・夏期間が冷涼、悪天候になりやすく、年度によって利用者数にばらつきがあります。 ・潮風の影響により、施設の老朽化や腐食が激しいため、修繕工事費がかかります。 ・砂が沖に流されることにより、砂浜の量が減少傾向にあります。 ・海浜公園内の松の木が繁茂しており、景観が阻害され始めております。			

4 住み続けたいくなる生活環境

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名
総計	4	6	住環境の改善			防災管財課	防災安全担当	
	施策の達成度評価（A～E）		A：100%程度	D：25%程度	今後の方向性			
	C		B：75%程度	E：0%	現状維持			
達成度評価根拠	野辺地町の空き家率は令和4年度調査で3.54%であったが、その後の調査を実施していないことから、正しい率は不明であるが、業務の中で感じる数値は横ばいもしくは上昇しているものと考えます。					施策・取組	①	空き家の活用と移住の推進
							②	
							③	
							④	
							⑤	
							⑥	
							⑦	
強み・弱み								
野辺地町の当該施策における強み（Strength）					野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）			
町は空き家率低下を目的とし、町空き家等除却事業費補助金及び町不良住宅等除却事業費補助金の交付事業を実施しています。					当町においては、所有者等が不明であったり、適正な管理がされていない空き家が多くあります。			

4 住み続けたいくなる生活環境

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名	
総計	4	7	合併処理浄化槽の普及・推進			町民課	環境保全		
	施策の達成度評価（A～E）			A：100％程度	D：25％程度	今後の方向性			
	B			B：75％程度	E：0％	拡大			
達成度 評価 根拠	生活排水処理基本計画に記載している目標値の浄化槽普及率には及ばないが、汚水処理人口普及率が令和4年度実績の68.59％から令和5年度は73.33％へ上昇し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上につながっていると思われます。					施策・ 取組	①	合併処理浄化槽の普及・推進	
							②		
							③		
							④		
							⑤		
							⑥		
							⑦		
強み・弱み									
野辺地町の当該施策における強み（Strength）					野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）				
・令和2年度から単独転換に係る宅内配管工事等を補助対象としたことにより、浄化槽の普及を促進しています。 ・令和5年度からは新たに汲み取り槽撤去費も補助対象としています。					・浄化槽設置事業は国、県の補助金を活用していますが、浄化槽補助金の対象項目を新たに増やすことは町の予算的に難しいと思われます。				

5 活用して保全する環境

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名
総計	5	1	活用して保全する環境			企画財政課	企画政策担当	
	施策の達成度評価（A～E）			A：100%程度	D：25%程度	今後の方向性		
B			B：75%程度	E：0%	その他			
達成度評価根拠	再生可能エネルギーの推進に関しては、大規模な風力発電事業が展開され、温暖化対策やカーボンニュートラルの面では一定の成果が得られたと考えられます。一方で自然環境への負荷や景観に関しては相応に影響があったと考えられます。				施策・取組	①	環境負荷の少ない社会の実現	
						②		
						③		
						④		
						⑤		
						⑥		
						⑦		
強み・弱み								
野辺地町の当該施策における強み（Strength）					野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）			
風力発電事業に関しては比較的風況の良いエリアもあることから、地域との折り合いや説明会等開催など一定の条件を満たせば再エネ導入をすることができます。					・自然環境や景観への影響が懸念されます。 ・温暖化対策に関して、担当部署が不透明です。			

5 活用して保全する環境

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名
総計	5	2	廃棄物処理とリサイクルの推進			町民課	環境保全	
施策の達成度評価（A～E）			A：100%程度	D：25%程度		今後の方向性		
B			B：75%程度	E：0%		現状維持		
達成度 評価根拠	資源ごみの回収促進を広報等で周知をしているが、町民の資源ごみリサイクルに対する意識の醸成が進まず、大きな成果を発揮するには至っていない状況にあります。				施策・ 取組	①	各種廃棄物（ごみ）の減量化	
						②	再生可能な資源のリサイクル	
						③	一般家庭可燃ごみ排出量	
						④		
						⑤		
						⑥		
						⑦		
強み・弱み								
野辺地町の当該施策における強み（Strength）					野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）			
・令和5年度からプラスチックごみの分別収集を実施、今後、リサイクル資源としての引き渡しを予定しているため、リサイクル率の向上が見込まれます。					・野辺地町の一人当たりのごみ搬出量は県内では多い方であるが、漁業の残渣、貝殻等の搬入量が多いことが原因と思われる。今後は水切りなどの指導を行い、ごみ減量化を目指す必要があります。			

6 メリハリのある行財政

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名
総計	6	1	メリハリのある行財政			企画財政課	企画政策担当	
	施策の達成度評価（A～E）		A：100%程度	D：25%程度	今後の方向性			
	C		B：75%程度	E：0%	拡大			
達成度 評価 根拠	（企画財政課関連部分） 協働のまちづくりについては任意団体等が公益性のある事業を計画した場合に補助金を交付するにとどまっており、さらなる事業展開が必要と考えます。			施策・ 取組	①	行政と町民による協働のまちづくりの推進		
					②			
					③			
					④			
					⑤			
					⑥			
					⑦			
強み・弱み								
野辺地町の当該施策における強み（Strength）				野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）				
				・参加されるメンバーがいつも同じ顔ぶれになることが多く感じられます。				

6 メリハリのある行財政

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名	担当課	担当	記入者氏名	
総計	6	1	協働のまちづくりの推進	総務課	行政担当		
施策の達成度評価（A～E）			A：100%程度 B：75%程度 C：50%程度	D：25%程度 E：0%	今後の方向性		
B			現状維持				
達成度評価根拠	・例年開催している「のへじファン♡ミーティング」ですが、令和6年度から名前を新たに「おでかけ町政座談会」として実施しました。 ・新型コロナウイルス感染症等の影響を顧みて、令和5年度、令和6年度ともに4回実施しました。 ・令和6年度についてですが、参加者は全4回で述べ56名であり、令和5年度の参加者65名より減少しておりますが、広報及びホームページで質問・回答の内容を掲載し、参加することができなかった町民の皆様に対して情報を発信しています。 【参考】のへじファン♡ミーティングの前期総合計画策定期間における参加者数 令和2年度…84名 令和3年度…84名 令和4年度…61名 令和5年度…65名 令和6年度…56名 ・年々、参加者は減少傾向にはありますが、事業は継続して実施しており、一定程度、施策が達成されていると判断しました。			施策・取組	①	町民の声のまちづくりへの反映	
					②	行政と町民による協働のまちづくりの推進	
					③		
					④		
					⑤		
					⑥		
				⑦			
強み・弱み							
野辺地町の当該施策における強み（Strength）				野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）			
・平日仕事の方が参加しやすいように、平日の仕事が終わった時間帯や土曜日に開催しています。 ・参加することができなかった方へ広報及びホームページで当日資料、質問及び回答の内容を周知しています。 ・当日参加者からのアンケートを配布し、今後の事業改善の材料としています。				・参加者が減少傾向にあります。 ・例年参加いただいている方が多く（参加者の固定化）、新規の参加者が少なくなっているため、周知方法やより参加しやすい環境づくりといった改善が必要です。			

6 メリハリのある行財政

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名
総計	6	1	協働のまちづくりの推進			防災管財課	防災安全担当	
	施策の達成度評価（A～E）		A：100%程度	D：25%程度	今後の方向性			
	C		B：75%程度	E：0%	現状維持			
達成度評価根拠	災害時における行政と関係機関及び住民との連携には、消防団や自主防災組織の役割が重要ですが、消防団員数は減少していること及び自主防災組織結成数は横ばいとなっています。				施策・取組	①	行政と町民による協働のまちづくりの推進（災害時の連携）	
						②		
						③		
						④		
						⑤		
						⑥		
						⑦		
施策の達成度評価（A～E）								
野辺地町の当該施策における強み（Strength）					野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）			
町の消防団員数は減少傾向にあるが、所属する団員それぞれの出勤状況は良好であり、個々の意識は高いものと感じます。また、防災訓練実施時には、平日等であっても多くの住民の参加があり、住民の防災に対する意識は高いものと感じます。 自主防災組織は、その未結成団体等への勉強会について、令和5年度は6団体（結成済の1団体を含む）、令和6年度は4団体に対し実施しています。					消防団員数が増加しないこと及び自主防災組織結成数が増加しないことです。			

6 メリハリのある行財政

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名
総計	6	2	広報・広聴の充実			総務課	行政担当	
	施策の達成度評価（A～E）		A：100％程度	D：25％程度		今後の方向性		
	B		B：75％程度 C：50％程度	E：0％		現状維持		
達成度 評価 根拠	・各公共施設に設置している「意見箱」に投函される町への意見を適切な部署に伝え、適宜対応しています。 ・ホームページから寄せられる意見を適切な部署に伝え、適宜対応しています。 ・町側とすれば、町民から寄せられた意見等を吸い上げ、各課等において対応していますが、町民が上記の制度のことを知っているのか、うまく活用しているのが不明であるため、達成度についてはBと判断しました。			施策・ 取組	①	広聴活動の充実		
					②			
					③			
					④			
					⑤			
					⑥			
					⑦			
強み・弱み								
野辺地町の当該施策における強み（Strength）					野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）			
・町内の公共施設、5か所（役場、図書館、公民館、町内プール、馬門公民館）に意見箱を設置し、広く町民からの意見を吸い上げるようにしています。 ・ホームページには町外からも意見及び問い合わせることができます。					・意見箱に意見を投函する人が少ない状況です（各課窓口で直接伝えている方もいます）。			

6 メリハリのある行財政

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名	
総計	6	2	広報・広聴の充実			総務課	行政担当		
	施策の達成度評価（A～E）		A：100%程度	D：25%程度	今後の方向性				
	B		B：75%程度	E：0%	現状維持				
達成度 評価 根拠	・「広報のへじ」については、毎月発行しており、行政サービスや各イベントなどの周知を行っています。また、毎月、特色のある特集記事を作成し、より町民に興味を持ってもらえるような内容となるよう努めています。 ・広報は地域住民に適切な行政サービスを周知可能であり、町や行政への関心を高めるために欠かすことができないツールです。また、見やすさを念頭に文字サイズは基本的に12ポイントとし、高齢者でも見やすい広報紙とするよう心がけています。 ・「広報のへじ」と併せて、関係団体等（学校や警察など）からの回覧物と一緒に配布し、町民に対して幅広く情報を発信しています。 ・しかしながら、月によってはページ数の関係で掲載できない記事等が出てくる際もあるため、このことも考慮した結果、達成度をBと判断しました。					施策・ 取組	①	「広報のへじ」の充実	
							②		
							③		
							④		
							⑤		
							⑥		
							⑦		
強み・弱み									
野辺地町の当該施策における強み（Strength）					野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）				
・町の情報が集約されており、効率的な情報発信を行うことができます。 ・ホームページにも広報を掲載し、スマートフォンやパソコンなどでも確認できます。 ・広報誌への有料広告掲載募集を随時行っており、歳入確保の一助としています。					・月に1回の発行となるため、タイムリーな情報発信が困難となっています。 ・各世帯への広報誌等の配布を自治会に依頼しており、広報紙以外の毎戸配布物が多いと自治会での仕分けに大変な労力がかかります。				

6 メリハリのある行財政

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名	
総計	6	2	広報・広聴の充実			総務課	情報政策担当		
	施策の達成度評価（A～E）			A：100%程度	D：25%程度	今後の方向性			
	C			B：75%程度	E：0%	拡大			
達成度評価根拠	【ホームページについて】 ・情報の更新はされているものの、CMS自体が使いにくい、情報が探しにくい、アクセス数を容易に調査できない、アクセシビリティへの配慮がない、リンク切れ時の警告がない等の課題が挙げられます。これは運用方法により解決ができるものとシステム的な問題もあります。 ・特にアクセシビリティは、障害者基本法（昭和45年法律第84号）等により配慮が求められていますが、それを達成できていません。また、国の「みんなの公共サイト運用ガイドライン」ではJIS X 8341-3の適合レベルA Aに準拠することを2017年度末までに求められていましたが、現行のホームページでは達成できておりません。 【SNSについて】 ・現在使用しているSNSは、自ら情報を取得しに行く「プル型」であり、災害時含め最新の情報を即座に発信できているとはいえません。 ・上記理由により、取組中であることを勘案して、達成度を50%程度と判断しました。					施策・取組	①	町ホームページについて（ホームページの全面リニューアル、運用方法の確立）	
							②	情報発信について（プッシュ型の公式SNSの導入）	
							③		
							④		
							⑤		
							⑥		
							⑦		
強み・弱み									
野辺地町の当該施策における強み（Strength）					野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）				
・令和6年度時点において、他市町村等の比較した際、当町の強みはないものと考えております。					・ページのツリー体系の統制が取れていない状況と全庁的な運用マニュアルがなくページ作成の操作を統一することができていません。また、アクセシビリティに準拠したページの作成ができておらず障がい者への配慮が足りない状況です。				

6 メリハリのある行財政

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名
総計	6	3	計画的・効率的な行財政運営の推進			企画財政課	財政担当	
	施策の達成度評価（A～E）			A：100％程度 B：75％程度 C：50％程度	D：25％程度 E：0％	今後の方向性		
	A					現状維持		
達成度 評価 根拠	予算編成においては、限られた財源のもと町民サービスの維持・向上を図るために事業の効果、優先度などを検証しながら編成を行ってきました。必要となる財源については、国県等の補助制度の情報収集に努め、また交付税算入の大きな地方債をできる限り活用するなど、効率的な財政運営に努めてきました。前期計画期間の中で、決算では財政調整基金の取り崩しがなく、健全な財政運営を行っているものと評価できます。経常収支比率は、R3が91.3%、R4が97.8%、R5が94.3%とKPIの目標値である99%以下を達成しています。ただし、県内市町村及び類似団体等と比較するとやや高い数値となっています。経常収支比率のさらなる引き下げは、社会情勢等にも左右されることや、一部事務組合への負担金が多大である当町にとって容易なものでありません。また経常経費の削減は、町民サービスの低下につながる懸念もあります。業務改革を推進しつつ、引き続き、経常収支比率を引き下げられるよう予算の調整等を行っていきます。				施策・ 取組	①	健全財政の確立	
						②		
						③		
						④		
						⑤		
						⑥		
						⑦		
強み・弱み								
野辺地町の当該施策における強み（Strength）					野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）			
・過疎地域に指定されていることから交付税算入割合の大きな過疎対策事業債が発行できるため、普通建設事業等を行う場合に町の持ち出しが抑制できます。 ・今後の財政運営における不安要素を把握しており、それに対応していくための準備を進めています。					・当町は一部事務組合への負担金の歳出に対する比率が他団体と比べて大きく、補助費等が多大であり、経常収支比率は以前から高い水準にあります。 ・築30年を経過している公共建築物が全体の7割を占めており、更新、統廃合、長寿命化等に多額の費用が発生する見込みです。			

6 メリハリのある行財政

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名
総計	6	3	計画的・効率的な行財政運営の推進			総務課	行政担当	
	施策の達成度評価（A～E）		A：100％程度	D：25％程度	今後の方向性			
	B		B：75％程度	E：0％	拡大			
達成度評価根拠	・毎年度、策定した行財政改革プランに基づいた改革プランの進捗状況を各課において内部評価し、その後、行政改革推進委員会を開催し（年2回程度）外部評価委員から外部評価をしていただいております。 ・外部評価をしていただいた内容を受け、各改革プランにおける今後の方向性を検討し、町ホームページ上で結果を公表しております。 ・評価した今後の方向性の項目にて、すべてのプランにおいて、「現状のまま継続」及び「改善しながら継続」という結果となっておりますので、一定程度、施策が達成されているものと判断しました。					施策・取組	①	業務改革の推進
							②	
							③	
							④	
							⑤	
							⑥	
							⑦	
強み・弱み								
野辺地町の当該施策における強み（Strength）					野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）			
・毎年度、継続的に行財政改革プランの評価を行い、各事務事業に反映しております。					・毎年度、継続的に行財政改革プランの評価を行ってはおりますが、抜本的な業務改革までいたるケースが少ない状況にあります。			

6 メリハリのある行財政

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名	
総計	6	3	計画的・効率的な行財政運営の推進			総務課	庶務人事担当		
	施策の達成度評価（A～E）			A：100％程度	D：25％程度	今後の方向性			
	B			B：75％程度	E：0％	拡大			
達成度評価根拠	・当町の職員数は年々減少しており（R2 135名→R6 122名）、退職者数に見合った職員採用ができていない状態です。各部署への適正な人員配置が困難になっていることから職員の長期的な研修派遣は他の職員の負担となるため休止しています。 ・職員研修の実施や人事評価制度の運用は適切に行っているものと考えています。 ・上記のことを総合的に判断し、一定程度、施策が達成されているものと判断しました。					施策・取組	①	職員の人材育成と定員管理（定員管理計画に基づいた適正な職員数の管理）	
							②	（職員の人材育成）	
							③	（人事評価制度の適正な運用）	
							④		
							⑤		
							⑥		
							⑦		
強み・弱み									
野辺地町の当該施策における強み（Strength）					野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）				
・職員数を定員管理計画（計画期間：令和3年度～令和7年度）内の目標値（130人以下）に抑制しています。					・採用試験申込者数が減少しており、特に専門職については応募がない年もあります。 ・職員の長期的な研修派遣は他の職員の負担となるため近年休止している状況です。				

6 メリハリのある行財政

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名
総計	6	3	計画的・効率的な行財政運営の推進			防災管財課	管財担当	
	施策の達成度評価（A～E）			A：100％程度	D：25％程度	今後の方向性		
	B			B：75％程度	E：0％	現状維持		
達成度 評価 根拠	・新庁舎が令和6年度で完成し、旧庁舎についても解体が完了しました。 ・令和4年に改正した公共施設当総合管理計画を基に公共施設の長寿命化、建替え、廃止等の方針を検討しました。					施策・ 取組	①	公共施設等の総合管理
							②	
							③	
							④	
							⑤	
							⑥	
							⑦	
強み・弱み								
野辺地町の当該施策における強み（Strength）						野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）		
・公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づき、保有する公共施設等の総量の適正化、長寿命化の推進を図るなど、計画的な維持管理に努めています。 ・統合小学校建設が計画されており、3つある旧校舎のうち1つが解体され新築となります。併せて、同敷地内に新児童館の建設も計画されています。						公共施設等の長寿命化や統廃合においては、優先順位を定め計画的に進めなければなりません。そのため、各施設の利用需要や老朽化状況、維持管理に係るコスト等、総合的な視点での判断が求められます。		

6 メリハリのある行財政

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名
総計	6	3	計画的・効率的な行財政運営の推進			総務課	情報政策担当	
	施策の達成度評価（A～E）			A：100%程度	D：25%程度	今後の方向性		
	C			B：75%程度	E：0%	拡大		
達成度評価根拠	・地方公共団体情報システムの標準化に関する法律（令和3年法律第40号）により、令和7年度までに基幹業務システムをガバメントクラウド上に構築された標準準拠システムへ移行することが求められていることから対応を行っています。 ・国のデジタル化に対する方針や自治体のDX化への推進要請等を踏まえ、当町におけるDX推進に向けた方針、関連する取組を取りまとめた「野辺地町DX推進計画」を策定中であり、今後、この計画を基本に業務の効率化・省力化を図るための施策を展開していきます。 ・上記のことから、現時点においては取り組みが不足していますが、「野辺地町DX推進計画」を策定中で今後取組を推進していくことを勘案して、達成度を50%程度と判断しました。					施策・取組	①	民間活力及びICTの活用推進（自治体情報システム標準化への対応）
							②	（ガバメントクラウドへの移行）
							③	（町DX推進計画の策定）
							④	
							⑤	
							⑥	
							⑦	
強み・弱み								
野辺地町の当該施策における強み（Strength）						野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）		
・令和6年度時点において、他市町村等の比較した際、当町の強みはないものと考えております。						・DXの推進体制が確立されていません。 ・町職員のICTへの理解度が低い状況にあります。		

6 メリハリのある行財政

総計/戦略	基本目標 No	施策No	施策名			担当課	担当	記入者氏名
総計	6	4	広域行政の推進			企画財政課	企画政策担当	
	施策の達成度評価（A～E）			A：100%程度	D：25%程度	今後の方向性		
	C			B：75%程度	E：0%	現状維持		
達成度評価根拠	三沢市、十和田市が中心となり、平成24年10月「上十三・十和田湖広域定住自立圏」の形成協定が締結されました。 企画財政課においては、地域公共交通3、インフラ整備に関する要望活動等2、移住・交流3、男女共同参画1の9事業において、中心市が主体となって取りまとめをし連携しています。					施策・取組	①	広域行政の推進
							②	推進体制の強化
							③	
							④	
							⑤	
							⑥	
							⑦	
強み・弱み								
野辺地町の当該施策における強み（Strength）					野辺地町の当該施策における弱み（Weakness）			
定住自立圏における事業において、道半ばのものが多くことから（伸びしろが多い）今後の取り組み方によっては成果に期待できると思います。					定住自立圏共生ビジョン掲載のすべての事業で取組みをしているとは言えないところです。また、広域で統一した方針を出す必要があり、個々の意見は反映されにくいところです。			